広報いわき

IWAKI

2024年
5
Vol.694

人づくり 日本一を目指して

特集01　令和６年度

教育に関する主な取り組み

～地域全体で人を育て、誇れるまち“いわき”をつくる～

POINT 06 多様な学びの場

不登校へのサポート

さまざまな事情で不登校になっている小中学生を対象とする「チャレンジホーム」を増設し、多様な学びの実現と原籍校への復帰を目指して支援を行います。

本年４月から内郷公民館内に新たに開所するとともに、総合図書館の一室を学習支援ルームとして開放します。

POINT 05 ＩＣＴ

１人１台のタブレット

児童生徒1人1台タブレット端末を活用し、ICT教育の更なる推進を図っていきます。これまでの通常授業での活用に加え、持ち帰り学習の推進も行っていきます。学校で学習したことを放課後や家庭学習、週末などにじっくり取り組むことで、授業との連続性、友達との作業共有など個別最適な学びが期待されます。

POINT 04 学力向上

分析学年を拡充

エビデンスに基づいた学力向上策に取り組むため、教科学力に加え、非認知能力や学習方略などについてクロス分析した結果をまとめ、各学校においても自校の実態を把握できるよう、新たな「学校カルテ」を開発。データ分析対象をこれまでの小学６年・中学3年から小学４年～中学３年までと大幅に拡充します。

POINT 03 特別支援

支援員150人へ

児童・生徒の円滑な学習活動を支援するため、肢体不自由など障がいのある児童生徒が在籍する通常の学級や在籍者数の多い特別支援学級に配置している支援員（医療的ケアを含む）を140人から150人に増員します。また、支援員の資質向上をより一層図るため、専門的な研修などにも取り組んでいきます。

POINT 02 快適な環境整備

特別教室へエアコン設置

児童・生徒の熱中症対策や学習環境の改善を図るため、令和６～7年度の２年間で、市内の公立小・中学校９２校の特別教室（図書室や音楽室など３室程度）に新たにエアコンを整備します。

本年度は４８校、来年度は４４校で整備する予定です。

POINT 01 学校給食支援

食材高騰分を負担

学校給食においても、食材費の高騰の影響を受けていますが、価格高騰分を公費で負担することで学校給食費を値上げすることなく提供します。子育て世帯への負担軽減と子育て支援を図るとともに、これまでと同様に地産地消を重視した質や量、栄養バランスを保った給食を提供していきます。

特集02

市の顔を紹介します

令和6年度

市長 内田 広之

このページ、それぞれの『顔』が、新年度、市役所の各部局のリーダーです。

彼ら彼女らは、いわきの「未来づくり」のため、熱を込めて奔走しています。常に、市民の幸福第一で公務に励みます。

そして、起きては欲しくないですが、時に、万が一の災害などでは、不眠不休で尽力することもあるでしょう。市民に優しい『顔』の見える行政を心がけます！

本年度もよろしくお願い申し上げます。

顔の見える市役所

副市長 下山田 松人

市民の幸福を実現する
持続可能な自治体経営

市役所生活40年を超えましたが、入所以来、ブレることなく市民の幸福の実現を目指してきました。しかしながら、人口減少時代においては、構造改革は必須であり、持続可能な自治体経営へと体質を改善しなければなりません。その考えを庁内に浸透させ、その先の市民の幸福という同じ絵姿（same page）を共有していきたいです。

副市長 安藤 靖雄

課題解決のため、
パイプ役になって
頑張ります！

海、山、まち、食べ物、スポーツ、文化…。魅力溢れるふるさとに、市民の皆さんが一層の喜びや愛着を実感していただけるよう、企業や関係機関、国・県とのパイプとなって地域課題の解決に向けて全力を尽くします。

総合政策部長 津田 一浩

「おっ、変わったな」
が実感できる
市役所に

持続可能な未来に向けて「構造改革」を進めています。組織の壁を取り除き、若手にチャンスを与えて成長を促す。タテ割をヨコ繋ぎに変えることで「おっ、変わったな」と変化を実感していただけるよう、さらなるチャレンジを続けます。

危機管理部長 松島 良一

「逃げ遅れゼロ」
「災害死ゼロ」
↓
「災害対応のじぶんごと化」へ

昨年の台風第13号対応の検証を踏まえ、多様な防災対策を実施していきます。一方、災害はいつ発生するか分かりません。加えて、近年の災害は、激甚化・頻発化しています。市民一人一人の「災害対応のじぶんごと化」に向けた取り組みを進めていきます。

総務部長 千葉 伸一郎

市民のために
職員ファースト！！

市役所の一番の財産は人材です。人口減少時代にあっても、市民の皆さんと一緒に汗をかいて、活力のあるまちづくりに取り組める職員を育成します。新たな発想も取り入れ、職員が生き生きと働ける職場を作ります。

財政部長 西川 謙太

将来を見据えた
財政運営と
施設マネジメント

「人づくり日本一」のまちの実現に向けた政策をはじめ、さまざまな政策を実施していくために、限りある財源を効果的かつ効率的に活用しながら、健全で安定した財政運営を行っていきます。また、公共施設等の老朽化なども大きな課題です。市民の皆さんの声をお聞きしながら課題解決に向けて全力で取り組んでいきます。

市民協働部長 遠藤 英子

みんなでつなぐ
地域の暮らし
-持続可能な地域づくり-

地域の安全・安心な暮らしを支える取り組みを、自治会や地域団体、市民活動団体などの皆さんとの協働により進めていきます。
また、親切で丁寧な窓口サービスの提供に努めます。

生活環境部長 齊藤 和哉

縁の下の力持ち

生活環境部の業務は、ごみや生活排水の処理、それら施設の建設や維持管理、不法投棄防止、リサイクルの推進など、市民の皆さんが快適に毎日を暮らすための下支えです。華やかさはないけど、しっかりと確実に！

保健福祉部長 佐々木 篤

つながり・つむぐ
豊かさを
地域の魅力に

「つながる・つむぐ」をキーワードに、地域のつながりづくりと、そのつながりをつむぐ取り組みを進めます。医療介護福祉人財の確保をはじめ、５年後、10年後に向けた人づくりに注力します。
選ばれるまちの基盤づくりを、あなたとともに！

08 こどもみらい部長 長谷川 政宣

こどもまんなか
社会の実現

相談体制のさらなる拡充、「出産育児一時金」や「出産・子育て応援金」などの経済的支援、母子保健・子育てコンシェルジュの取り組みや子育て情報の発信強化により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない総合的な支援に着実に取り組みます。

09 農林水産部長 西丸 巧

目的と戦略を明確化し
未来へつなげる
“いわきスタイル”を確立！

本市ならではの自然環境、生産技術を生かし、市民が農林水産業に求めることと農林水産業が果たすべき役割を見定めるとともに、時代の変化を見通し、未来につながる“いわきスタイル”の確立へ向け、皆さんと一丸となって取り組みます。

10 産業振興部長 佐竹 望

産業界の挑戦を
後押しし、その力を
お借りして地域課題
を解決！

創業や稼ぐ力の向上、事業承継などの企業の挑戦を「魅力的な働く場」の創出につなげ「見える化」して広く発信することで、若者や女性などを市内に「とどめ・呼び戻し・呼び込み」、人口減少に対応していきます。

11 観光文化スポーツ部長 赤津 俊一

観光･文化芸術･スポーツ
の力で人・まち・
いわきを元気に!!

本市が有するさまざまな地域資源を見つめ直し、磨き上げながら、観光・文化芸術・スポーツが持つ力を引き出し、それぞれを掛け合わせることで人もまちも元気にします。そして選ばれるいわきの実現を目指します。

12 土木部長 市毛 芳幸

安全・安心・快適な
未来の創造に向け
“愚直に粘り強く”

気候変動や社会状況の変化に対応しながら、安全・安心な生活環境を創出し、市民満足度の向上を図るため、水害の軽減を図る施策、安全で持続可能なみちづくり、快適な住環境の整備などに取り組みます。

13 都市建設部長 紺野 克彦

ネットワーク型
コンパクトシティの
実現へ向け
一歩一歩前へ！

市民生活を賑わいや活気あるものとするため、市街地の再生整備や再開発事業、路線バスやタクシー等の公共交通、都市公園および駅前広場の利便増進、さらには空き家問題や建築物省エネルギー化への対策などを着実に進めます。

14 会計管理者 中塚 均

会計事務DXを実行
－事業者などの利便性の向上と
業務効率化を推進－

事業者などがインターネットを介して市へ請求書を送付できる「電子請求システム」と、同様にインターネットを介して市からの振込状況を確認できる「口座振込通知システム」を本年度中に導入し、会計事務DXを進めます。

15 議会事務局長 久保木 哲哉

円滑な議会運営を
全力でサポート

円滑な議会運営に努めながら、市議会基本条例に基づく取り組みを全力でサポートし、信頼される議会の実現を下支えしていきます。
また、議員の改選に伴う事務についても遺漏のないよう対応していきます。

16 教育部長 柴田 光嗣

子どもから大人まで、
ライフステージに
応じた学ぶ機会の充実

自分らしく充実した人生を送るうえで、学び続けることは大切です。子どもは、学びから身に付けた知識を知恵に変え、大人は、自らの個性を磨き上げ、社会に貢献する。生涯にわたって学び、生かすことができる仕組みづくりを進めます。

17 消防長 谷野 真

消防は市民の「砦」

市民の「生命」と「財産」を守る！
これが、我々消防の使命です。
安心して住み続けられるまち「いわき」のために、これからも訓練を積み重ね、強固な「砦」となって、皆さんをあらゆる災害から守ります。

18 水道局長 則政 康三

未来に引き継ぐ
いわきの水道
－安全でおいしい
水を必要なだけ－

本年度は、災害時の浄水場水系間のバックアップ機能の強化を図るために整備してきた「基幹浄水場連絡管整備事業」の重要施設「中部配水池新設工事」に着手するなど、引き続き強靭（きょうじん）な水道施設の構築に努めていきます。

19 医療センター事務局長 緒方 勝也

市民の皆さんとともに
進歩する病院へ

医師の働き方改革が始まりましたが、これからも質の高い医療を提供します。いわきの医療の要として、医師の確保や医療人財の育成にも努めます。
住み慣れた地域で、安心して医療が受けられるよう取り組みます。

TOPIX 1

令和５年度 消防庁長官表彰

お問い合わせ
消防本部総務課　☎22-0120

次の10人の方々が、永年勤続功労章を受章しました。同章は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の規範と認められる消防団員などに贈られるものです。

○大平　満	(62)	＝第１支団分団長	平下神谷
○小野　尚男	(59)	＝第２支団分団長	泉町滝尻
○蛭田　勝行	(63)	＝第３支団分団長	沼部町
○折笠　正	(61)	＝第４支団分団長	遠野町
○松本　武人	(62)	＝第５支団分団長	内郷宮町
○大越　勝彦	(56)	＝第６支団分団長	川前町
○荻野　晴孝	(62)	＝第６支団副分団長	三和町

他、消防職員３名

※年齢・階級は３月１日現在。支団(所属、階級)順・敬称略

TOPIX 2

新規市指定文化財

お問い合わせ
文化財課　☎22-7546

市教育委員会は、市指定文化財として１件の有形文化財(古文書）を追加指定し、新たに１件の天然記念物を文化財指定しました。今回の指定により、市指定文化財は196件となりました。

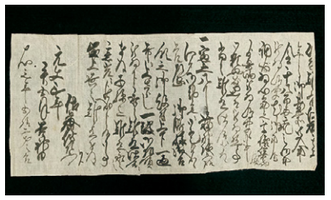
有形文化財（古文書）　伊勢屋所蔵文書

所在地　江名 / 所有者　個人

海村特有の文書が散見され、地域性を多分に帯びた文書群で、すでに一部が市指定文化財になっています。

追加調査で確認された文書群から明らかになる歴史的事実も多彩で、江名という地域を近世から近代まで通覧できることから、海村研究の一助となるものであり、貴重な史料です。

▲ 漁業・海運69十印塩鰹仕切〔仕切目録〕


▲湯長屋藩書状〔御紋付上下等拝領につき〕

天然記念物　波立寺のビャクシン（イブキ）

所在地：久之浜町田之網 / 所有者：宗教法人　波立寺

福島県内では元々まれな樹種であり、既知の現存木では最も大きな巨樹で、樹齢500年以上と推定されます。隣接する自生地に由来すると考えられ、郷土樹種の遺伝子資源としても貴重です。

▲ビャクシン（イブキ）雄株

▲ビャクシン（イブキ）雌株

TOPIX 3

6月1日㈯～7日㈮は、水道週間

お問い合わせ
水道局総務課　☎22-9314

水道週間は、皆さんに「水道についてもっと知ってもらいたい」という思いから始まり、期間中は全国でさまざまな広報活動を行っています。水道局では、水道をより身近に感じてもらえるよう、毎年この期間中「水」に関するイベントを行っていますので、ぜひお越しください。

イベント情報

会場　イオンモールいわき小名浜「イオンホール」（小名浜辰巳町79番地）

5/31㈮～6/3㈪
10時～21時

絵画展＆写真展

小学４年生の豊かな感性や独創性があふれる絵画を展示します。また「水」に関する風景を見事にとらえた写真を展示します。

6/2㈰
10時～15時

きき水コーナー

いわきの水道水と市販のミネラルウォーターを飲み比べてみてください。

水道管模型などの展示

水道管模型や水道局の歴史、浄水場の仕組みなどが分かるパネルを展示します。

水道アンケート

水道に関するアンケートにお答えいただいた方に記念品をプレゼントします。
※無くなり次第終了

水の実験コーナー

汚れた水をきれいにする実験を体験できます。

広報・相談ブース

水道料金の口座振替の案内や水道に関する相談を受け付けます。

浄水場の一般公開

6/1㈯～7㈮

受付時間
９時、10時、11時、13時、14時

水道週間の期間中、普段入ることができない平浄水場と山玉浄水場を見学することができます。浄水施設を間近に見ながら、水道水がどのようにできるのかを水道局員が分かりやすく説明します。

会場
平浄水場（北部浄水場管理室）　☎22-2411
山玉浄水場（南部浄水場管理室）　☎65-3612

TOPIX 4

女性活躍推進企業

お問い合わせ
産業ひとづくり課　☎22-7478

女性が活躍できるまち、いわき。

市では、女性の活躍と男女共同参画推進に理解と意欲があり、仕事と家庭の両立に配慮し、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる市内企業などを認証し、公表しています。これまで52社を認証しており、令和５年度には新たに９社が認証されました。

令和５年度　市女性活躍推進企業　認証企業一覧

- ○株式会社 吉多美工業（泉滝尻）
- ○株式会社 福田組（平泉崎）
- ○株式会社 加地和組（平）
- ○常磐開発 株式会社（常磐湯本町）
- ○ひまわり信用金庫（平）
- ○株式会社 リビングソーラー（鹿島町下矢田）
- ○トラスティ保険 有限会社（内郷御台境町）
- ○丸長建設工業 株式会社（鹿島町米田）
- ○有限会社 あすか（内郷綴町）

市民の皆さん　女性活躍推進企業に認証された企業では…

こんな取り組みを行っています

- ☑ 子の看護休暇・介護休暇を１時間単位で取得可能
- ☑ 育児休業期間の一部を有給に
- ☑ 仕事と家庭の両立を支援するイクボス宣言
- ☑ フレックスタイム制・テレワークの導入

「令和６年度 女性活躍推進企業」の募集時期は秋頃を予定しています。
対象、要件、手続きなど詳しくは、市ホームページをご覧ください。

小名浜港大剣ふ頭　ガントリークレーン供用式

小名浜港大剣ふ頭（泉町下川）　3/25(月)

小名浜港の物流がさらに強化

#小名浜港　#ガントリークレーン　#福島県小名浜港利用促進協議会

小名浜港大剣ふ頭のコンテナターミナルの機能強化に向け、コンテナ貨物の荷役用大型クレーン「ガントリークレーン」が増設され、２基体制となりました。さらに、従来の韓国・釜山港をメインとする外貿定期コンテナ航路に加え、本年２月には、京浜港（東京港・横浜港）をハブとする国際フィーダー航路が４年ぶりに再開となり、地域企業の競争力向上と地域経済の活性化が期待されます。

中央台南中学校　映像最優秀作品賞受賞！

パナソニックセンター東京（東京都）　3/17(日)　◀KWN作品動画　◀選挙啓発動画

東京で表彰式が行われました！

#映像作品　#キッド・ウィットネス・ニュース（KWN)日本コンテスト2023　#中央台南中学校

全国の小・中・高校生が制作した映像作品を競うパナソニックの「キッド・ウィットネス・ニュース（KWN）日本コンテスト2023」にて、中央台南中学校が制作した作品が中学生部門の最優秀作品賞に輝きました。作品は、東日本大震災をテーマにした「Coming Back Home　～帰郷～」。約５分間の映像で「学ぶ」「考える」「行動する」の３部構成で制作。ぜひ、皆さんもご覧ください。また、同校では選挙啓発動画の制作も手掛けており、そちらの動画（５月１日公開）もご覧ください。

市内小学校に大谷翔平選手グローブが届きました

高久小学校（平下高久）　4/11㈭

＼野球しようぜ！／　#高久小学校　#大谷翔平選手グローブ　#キャッチボール　#笑顔

米メジャーリーグ、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手からの贈り物「サイン入りグローブ３個」が「野球しようぜ」のメッセージとともに市内の各小学校に届きました。

取材に協力いただいた高久小学校では、学年を問わずたくさんの児童たちが大谷選手から贈られたグローブを身に付け、輝かしい笑顔でキャッチボールを楽しんでいました。

写真が語る「いわき」の歴史

戦時下の制服スタイル

明治時代に登場した中等学校（現在の高校に当たる）における制服の成り立ちは、男子では詰襟の洋装、女子の場合は男子のようにストレートに洋装に向かわず、着物の不自由さを解消するための袴（はかま）姿を経て、大正時代半ば、水兵服をモデルとしたセーラー服に人気が集まり、制服として定められました。いわき地方の磐城高等女学校においても同様でした。

戦時色が濃くなる昭和16（1941）年11月、磐城高等女学校ではヘチマ衿（えり）に襞（ひだ）なしスカートの標準服が導入される一方、モンペの着用も許されましたが、急速に絣（かすり）の上着にモンペ姿が一般的になっていきました。

３人で記念写真を撮ったのは昭和18（1943）年３月でした。すでに戦争一色となり、モンペ姿が制服化していました。３人は卒業生の先輩から制服を借りて撮影したのです。女学校に入学した女子にとってセーラー服とスカートには憧れがあったようです。写真は個人を撮ったものですが、見方を変えると時代や社会を映す鏡なのです。

（いわき地域学會　小宅幸一）

■写真２　絣の上着とモンペ姿の小名浜高等女学校生徒・小名浜海岸
〔昭和19（1944）年頃　『写真でつづる実伝・いわきの漁民』から引用〕

■写真１　セーラー服とスカートにこだわった、戦時下の磐城高等女学校生
〔昭和18（1943）年３月　猪狩光正氏提供〕

案　内

四倉地区市街地再生整備基本計画を策定

都市計画課　☎22－7513

市では、安全・安心で利便性の高い拠点機能の創出による市街地再生を図るため「四倉地区交流・防災拠点施設の整備」「安全な道路交通環境の整備」「まちなかエリアの賑わい再生」「公共施設再編後の跡地の取扱い」に係る具体的な取り組みをまとめた計画を策定しました。

早めの熱中症予防対策

保健所地域保健課　☎27－8594

５月から熱中症になる危険性があります。体がまだ暑さに慣れていないため、熱中症になりやすく救急搬送される人が出始める時期です。体調に合わせて無理のない運動や入浴などで、体を暑さに慣れさせましょう。

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金を支給

保健福祉課　☎22－7450

区分	対象	支給額
給付金	令和５年度住民税均等割のみ課税世帯	10万円/世帯
こども加算	令和５年度住民税非課税世帯または均等割のみ課税世帯で18歳以下の子どもがいる世帯	５万円/子ども１人

申請期限 **5/31㈮**

※申込方法など詳しくは、市ホームページをご覧になるか市コールセンター（☎0120-750-040）へ。

お知らせ information

いわき市民コミュニティ放送（76.2MHz）

▶市政情報番組「いわきWith」
毎週月曜日　19：00～19：30
毎週金曜日　13：00～13：30（再放送）
毎週土曜日　８：30～９：00（再放送）

▶GOOD DAY いわき プラス
月～金曜日　７：45～／12：10～（再放送）
※アプリ「ＦＭ聴 for ＦＭいわき」「Listen Radio」からも聴くことができます。

ラジオ福島（1431KHz・90.2MHz）

市政情報番組　第２・第４土曜日　８：35～

市政だより

福島放送	５月11日㈯	９：55～
	６月８日㈯	９：55～
福島中央テレビ	５月18日㈯	９：25～
福島テレビ	５月19日㈰	13：55～
テレビユー福島	５月25日㈯	９：25～

※放送・放映日時は変更となる場合があります。

今月の納期（納期限５月31日㈮）

軽自動車税種別割・自動車税種別割

公共施設臨時休館情報

四倉図書館	５月13日㈪～18日㈯
内郷図書館	５月20日㈪～25日㈯
常磐図書館	５月27日㈪～６月１日㈯
勿来図書館	６月３日㈪～８日㈯
小名浜図書館	６月10日㈪～15日㈯
総合図書館	６月17日㈪～28日㈮

いわき市の人口（令和６年４月１日現在）（前月比）

人　口	318,704人	（－1,126）
男	156,385人	（－　564）
女	162,319人	（－　562）
世帯数	141,212世帯	（－　36）

いわき市公式 SNS

←市ホームページより各種SNSの登録・フォローができます

防災メール

災害情報や避難情報などをメール配信します。
←詳しくはこちら

松くい虫防除の薬剤散布を実施

林業振興課　☎22－1181

散布は早朝に実施し、散布後は散布区域への立ち入りや林産物の採取などが制限されます。

日時 ①四倉（玉山・中島・白岩）、大久（小久）＝6/3㈪　②新舞子地区＝6/11㈫～21㈮

※①は、ヘリコプターで散布します。

※雨天・強風・濃霧などにより順延する場合、散布日を順次繰り下げます。

6/1～7はＨＩＶ検査普及週間

保健所感染症対策課　☎27－8606

不安がある方は、ＨＩＶ検査を受けましょう。

日時 月曜日　9：00～16：00（第２・４月曜日は19：00まで）

場所 総合保健福祉センター

申込方法 同課へ☎で（匿名可）

5/18㈯は廃乾電池の収集日

清掃管理事務所　☎56－7963

- 中身の見えるポリ袋に入れて、朝８時30分までにごみ集積所に出してください
- 廃乾電池以外は出さないでください
- カメラや時計に使われているボタン型電池、充電式電池、リチウムイオン電池は、販売店などの回収ボックスを利用してください
- 事業所や工場などで使用した乾電池、特殊な乾電池（事業用など）は収集しません

東京電力㈱追加賠償に係る請求手続き

東京電力㈱相談専用ダイヤル　☎0120－926－470

中間指針第五次追補などを踏まえた追加賠償の請求手続きを引き続き受け付けています。

電話受付時間 月～金曜日　9：00～19：00（土・日・祝日は17：00まで）

請求書類郵送依頼専用ページ ▶

５月は消費者月間

消費生活センター　☎22－7021

デジタル化やＡＩなどの急速な進展により、生活は便利になる一方で、リスクも多様化しています。デジタル時代の消費生活を楽しむため、仕組みやリスクを理解し、デジタルサービスを適切に活用しましょう。

契約や買い物でお困りの際は、消費生活センターまたは消費者ホットラインに相談してください。また、借金返済のために借金を重ねる多重債務に悩んでいる方を対象とした相談も受け付けています。

○相談窓口

- 市消費生活センター相談ダイヤル（☎22-0999）9：00～16：00（祝日を除く、月～金曜日）
- 消費者ホットライン（☎188）

6/4～10は歯と口の健康週間

保健所地域保健課　☎27－8594

定期的に歯科検診を受け、虫歯や歯周病を予防しましょう。

○歯と口の健康まつり

日時 6/9㈰　11：30～15：00

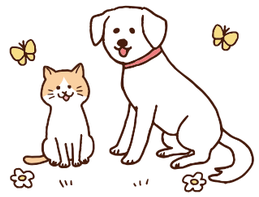
場所 総合保健福祉センター

内容 図画・ポスター・書写・標語コンクール入賞作品の展示、歯科・栄養相談など

公式ＳＮＳ「いわき犬猫情報局」

保健所生活衛生課　☎27－8592

動物の愛護と適切な管理に関心と理解を深めてもらうため、犬猫の適正飼養に関する情報や譲渡対象としている犬猫の情報発信を行っています。



▲詳しくはこちら

不法投棄監視ウイーク 5/30（ごみゼロの日）～6/5（環境の日）

廃棄物対策課　☎22－7439

「不法投棄　しない　させない　ゆるさない」

不法投棄は犯罪です。不法投棄のないまちを目指し、監視の目を光らせましょう。

光化学スモッグに注意

環境企画課　☎22－7441

光化学スモッグ注意報が発令されたら、窓を閉めて外出を控え、健康状態に不安がある方は室内で安静を保ちましょう。目や喉に刺激を感じた場合は、洗眼やうがいを行い、保健所地域保健課（☎27－8594）へ連絡してください。同注意報の発令は、市ホームページや市防災メールでお知らせします。

軽自動車税・自動車税種別割の納期限など

市民税課（軽自動車税種別割）　☎22－7428

県いわき地方振興局県税部（自動車税種別割）　☎24－6025

納期限は５/31㈮です。納税通知書に記載してある納付場所で、納期内に納めてください。

○障がいのある方の軽自動車税種別割・自動車税種別割を減免

一定の条件を満たす場合は、申請により所有する車１台に限り、軽自動車税種別割または自動車税種別割を減免します。

申込方法 運転する方の運転免許証、車検証（電子車検証の場合には、自動車検査証記録事項も）か標識交付証明書、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかと、軽自動車税種別割は本年度の納税通知書を持参し、①軽自動車税種別割は市民税課・各支所税務担当窓口、②自動車税種別割は県いわき地方振興局県税部（県いわき合同庁舎内）で

申込期限 ①＝5/24㈮　②＝5/31㈮

※詳しくは、同課または同県税部へ。

ツキノワグマの出没に注意

環境企画課　☎22－7441

市域外からツキノワグマが市内を往来している可能性があります。行楽等で入山する際は、複数人で行動する、音が鳴る物を身に着ける、ツキノワグマの行動時間帯（朝夕）を避けるなど遭遇しないように気を付けましょう。

いわき都市計画の変更に係る説明会を開催

都市計画課　☎22－7511

日時 5/24㈮　18：30～19：30

場所 中央台公民館（大会議室）

内容 ①いわき都市計画用途地域の変更　②いわき都市計画地区計画の決定

雨水貯留タンクなどの設置費用を補助

生活排水対策室経営企画課　☎22－7519

公共下水道事業計画区域内で、雨水貯留タンクなどを本年度内に設置する方に、補助金を交付します。

内容 ①雨水浸透マス＝住宅等１棟につき４基まで　②雨水貯留タンク＝200リットル以上の市販品で、住宅等１棟につき１基まで　③浄化槽転用雨水貯留施設＝住宅等１棟につき１基まで　④止水板＝住宅等１棟につき１基まで

補助額 ①②③＝工事・購入費の３分の２　④＝工事費の２分の１

限度額 ①＝１基当たり２万５千円　②＝５万円　③＝20万円　④＝50万円

申込方法 工事着手または購入の20日前までに、同課、各下水道管理事務所に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要書類を添えて、〒970－8686　生活排水対策室経営企画課へ

申込期限 11/29㈮

※12/27㈮までに設置を完了し、市の検査を受ける必要があります。

わいわい塾の参加者とボランティアなど

障がい福祉課　☎22－7485　FAX 22－3183
✉ shogaifukushi@city.iwaki.lg.jp

○わいわい塾の参加者とボランティア

各種レクリエーションを通して、障がいのある方同士の交流を深める「わいわい塾」の参加者と活動を支援するボランティアを募集します。

日時 7月～来年3月の毎月第1または第2日曜日（全9回）　10：00～11：30
場所 市文化センター、中央台公民館など
対象 障がいのある方で、活動場所までの移動手段が確保できる方または継続して参加が可能なボランティアの方　定員 50人（応募多数時抽選）
申込方法 住所・氏名・生年月日・電話番号を同課へ☎・FAX・✉で
申込期限 5/31㈮

○パラスポーツ体験教室の参加者

日時 5/18・25、6/15・29、7/6・20（全て土曜日）　13：30～15：00
場所 サン・アビリティーズ
内容 車いすバスケットボール、ボッチャなど
申込方法 住所・氏名・年齢・電話番号を、同館へ☎・FAX(43－7791)、✉(sun-abilities@city.iwaki.lg.jp)で

地域がん診療連携拠点病院市民公開講座

診療情報管理室　☎26－3151

日時 5/25㈯　14：00～16：20
場所 市医療センター　きょうりつ講堂
演題 ①当科におけるロボット支援下手術の現状とその実際　②婦人科がん治療の進化と女性ヘルスケアの両立に向けての取り組み
講師 ①＝市医療センター　診療局産婦人科部長 大関健治　②＝県立医科大学　産婦人科学講座教授　添田周　※事前申込不要。

市ファミリー・サポート・センターの会員

ファミリー・サポート・センター　☎43－0813

子育てのサポートをしたい方（協力会員）を募集しています。会員登録が必要ですので、希望する方は次の研修を受講してください。

日時 6/26㈬ 9：00～16：30
6/27㈭ 9：00～15：30　場所 ゆったり館
定員 15人程度（応募多数時抽選）
申込方法 同センターへ電話か窓口で
申込期限 6/22㈯
※サポート報酬は、1時間600円です。
※子育てのサポートをしてほしい方（依頼会員）は、随時登録可能です。

6/2～8は危険物安全週間

消防本部予防課　☎24－3942

私たちの身の周りには、ガソリンや灯油のほか、スプレーや塗料など危険物を含むものが多く存在します。また、消毒用アルコールについても、アルコール濃度が一定以上のものは、消防法上の危険物に該当するので、使用・保管には十分に注意しましょう。

【事例1】アルコール消毒直後にタバコを吸おうとライターで火をつけようとしたところ、手についたアルコールに引火しやけどをした。
【事例2】車内に消毒用アルコールを放置していたところ、車内温度が上昇し容器が破裂した。

不動産登記に係る費用を補助など

住まい政策課　☎22－7593

○不動産登記に係る費用を補助

対象 「空き家バンクいわき」への登録を予定している空き家の所有者またはその相続人
内容 不動産登記に係る手数料や委託料
補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限5万円）　募集件数 10件程度（先着順）

○空き家の改修費用を補助

対象 自らが居住するため「空き家バンクいわき」に登録されている空き家を、購入または賃借する方　内容 居室、浴室などの改修
補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限50万円）　募集戸数 3戸程度（先着順）

○案内（共通）

申込方法 同課に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、〒970－8686　住まい政策課へ（直接持参も可）
申込期間 5/13㈪～来年1/31㈮消印有効

募　集

さきがけ！男の料理塾

地域包括ケア推進課　☎27－8575

食や健康、料理について学びながら、新たな人との交流を目的とした料理講座を開講します。

日時 6/13～8/1の木曜日（全8回）10：00～13：30（7/25は12：00まで）
場所 常磐公民館
対象 65歳以上の市内居住者で、過去に同講座を受講したことのない男性　定員 12人（先着順）
料金 3千円（7/25は調理なし、8/1は材料費別途）
申込方法 5/20㈪から同課へ☎

防犯パトロール用品の貸与など

生活安全課　☎22－1152

○防犯パトロール用品を貸与

内容 パトロール用の帽子、腕章、蛍光ベストの貸与　定員 40人（応募多数時抽選）
対象 市内に居住・通勤・通学する18歳以上で、おおむね月1回以上活動できる方
申込方法 同課、各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、持参提出
申込期間 5/7㈫～31㈮

○LED防犯灯の新規設置費を補助

内容 ①対象＝防犯灯がない電柱などに設置するＬＥＤ防犯灯　②補助灯数＝239灯
申込方法 自治会などの代表者が同課、各支所に備え付けの申請書に必要事項を記入し、持参提出
※補助の決定は、現地調査実施後、申請者へ通知します。　申込期間 5/7㈫～21㈫

○5月は自転車安全利用強化月間

①車道が原則、左側を通行　歩道は例外、歩行者を優先　②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認　③夜間はライトを点灯　④飲酒運転は禁止　⑤ヘルメットを着用

ブロック塀などの撤去を支援

建築指導課　☎22－7516

対象 個人が所有する高さが1m以上のブロック塀などで、地震による倒壊の恐れがあり、道路に面しているもの（高さを1m未満にするための部分撤去を含む）
補助額 撤去費用の2分の1または塀の延長に1m当たり5千円を乗じた額のいずれか少ない額（上限10万円）　件数 30件程度（先着順）
申込方法 同課に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、同課へ持参提出　申込期間 5/13㈪～11/29㈮

地区集会所の修繕費を補助

地域振興課　☎22－7414

対象 自治会・町内会・区が所有している集会所の屋根のふき替えや外壁塗装、床の張り替え、トイレの改修など
補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限100万円）
申込方法 同課へ事前に相談の上、同課、各支所に備え付けの要望書に必要事項を記入し、必要書類を添えて同課へ　申込期限 6/5㈬
※軽微な修繕や備品類の購入は、補助対象となりません。

住宅の新築・購入費を補助

都市整備課　☎22－1138

対象 空き地バンクに登録された土地を取得し、住宅を新築した方、または新築住宅を購入した方
補助額 補助対象経費の2分の1以内または基本額と各種加算額の合計のいずれか低い額（上限50万円）　募集戸数 22戸程度（応募多数時抽選）
申込方法 同課に備え付けの申込書（市ホームページからも入手可）に必要書類を添えて、〒970－8686　都市整備課へ（直接持参も可）
申込期間 5/10㈮～6/30㈰消印有効
※空き地バンクに登録した土地の売買が成立した場合、その土地所有者や仲介した宅地建物取引業者を補助する制度もあります。

市防災ラジオの無償貸与対象者を拡充

災害対策課　☎22－1153

市内に住所を有する世帯の世帯主に防災ラジオを貸与できるようになりました。同課または各支所で申請してください。

金婚夫婦に記念品を贈呈

介護保険課　☎22－7467

対象 1974年1月1日～12月31日に婚姻届を提出した夫婦
申込方法 最寄りの地区保健福祉センター・支所・市民サービスセンターで
申込期間 5/8㈬～7/8㈪
※本市に本籍がない方は、戸籍謄本が必要です。
※福島民報社・県老人クラブ連合会主催「しあわせ金婚夫婦表彰」も同時に受け付けします。

汚染状況重点調査地域の指定解除

資源循環推進課　☎22－7559

市では、除染に係る取り組みを進め、市全域の平均空間線量率が汚染状況重点調査地域の指定解除要件を満たし本年3月29日に指定が解除されました。なお、市内の空間線量の測定は継続します。

休日納税相談

問い合わせ先　税務課 ☎22-7424

内容	日程	時間	場所
税の納付や納付方法の相談、納付書を紛失した際の再発行など	5/19(日)	9:00～16:00	税務課、各税務事務所

フラワーセンター

問い合わせ先　☎22-5667　申込方法　5/15(水)9:00から☎か窓口で

教室名	日程	時間	定員（先着順）	料金
タイルでスパイスラック作り	6/1(土)	10:00～12:00	8人程度	2,500円
押し花でキーホルダー作り	6/2(日) 6/3(月)	13:30～15:30	10人程度	1,500円
ガラスのアクセサリー作り	6/9(日)			2,000円
初夏の横型スワッグ	6/15(土)	10:00～12:00		
生活インテリア雑貨作りVol.3 「プリザーブドフラワーでハイヒール置物」		13:30～15:30		2,500円 （お子様の同伴について 小学生以下は1人のみ無料 中学生以上は1人2,000円）
サンキャッチャーアレンジメント	6/16(日)	10:00～12:00		3,000円
父の日プレゼントにフラワーボトルを				

市民スポーツ教室

問い合わせ先　スポーツ振興課 ☎22-7553　FAX22-1285　✉spo@city.iwaki.lg.jp

申込方法　5/22(水)までに任意の様式に教室名・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレスを記入し、〒970－8686 スポーツ振興課へ（FAX✉可）　場所　総合体育館　対象　市内に居住する小学生以上の方

教室名	日程（全15回）	時間	定員（応募多数時抽選）
シェイプアップトレーニング教室	6/17、7/1・29、8/19、9/9・30、10/21、11/11・25、12/9・23、来年1/27、2/10、3/10・24（全て月曜日）	19:00～21:00	100人

※室内用運動靴や飲み物などを持参してください。

クリンピーの家

問い合わせ先　☎56-3651　FAX56-3652

申込方法　5/20(月)までに往復ハガキの往信欄に教室名・住所・氏名（フリガナ）・年齢・電話番号を記入し、返信欄に自分の宛先を明記し、〒972－8337　渡辺町中釜戸字大石沢24－1 クリンピーの家へ（申込フォーム可）

申込フォーム▲

教室名	日程	時間	定員	料金
布ぞうり作り	6/7(金)	9:30～14:30	8人	600円
つまみ細工	6/14(金)	9:00～12:00		－
エコバッグをトールペイント	6/20(木)	9:30～11:30	10人	500円
サンドブラスト	6/25(火)	9:00～12:00		－

生涯学習プラザ

問い合わせ先　☎37-8888　FAX22-5555　✉info@isgp.jp

申込方法　5/21(火)までにハガキに講座名・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を記入し、〒970－8026 平字一町目1生涯学習プラザへ（窓口・FAX✉申込フォーム可）　対象　18歳以上の方

申込フォーム▲

内容	日程	時間	教材費	定員
四季を生ける	6/8(土)、9/14(土)、12/14(土)、3/8(土)（全4回）	14:00～16:00	5,600円	16人
英語で話そう！	6/13(木)・20(木)・27(木)、7/4(木)・11(木)・18(木)（全6回）	18:30～20:30	－	20人
七宝でつくるアクセサリー1	6/15(土)・22(土)（全2回）	10:00～12:00	1,300円	12人
いわきの文化総合講座	6/16(日)	13:30～15:00	－	30人
自分だけの器をつくる	6/24(月)、7/1(月)・29(月)、8/5(月)（全4回）	18:30～20:30	600円	20人
Excel応用講座1	6/30(日)	10:00～12:30	－	24人

※応募多数時は抽選。

おわびと訂正　広報いわき4月号9ページ、特集4の下段写真において「河本翔大選手」とありますが「川本翔大選手」の誤りでした。また、同ページ下段、前夜祭の曜日が「日曜日」とありますが「月曜日」の誤りでした。おわびして訂正します。

市民の健康教室

提供・問い合わせ
㈳いわき市医師会　☎38－4201

「健康日本21」って知っていますか

「健康日本21」とは、2000年に厚生労働省が始めた国民の健康増進を目的とした運動のことで、健康課題に対する目標数値を決めて、その数値を達成できるように、さまざまな取り組みを行うというものです。

2000年に第一次「健康日本21」として始まり、2013年からは第二次「健康日本21」として新たな目標が設定されて、これまで活動が続いてきました。また、2024年４月からは第三次「健康日本21」が開始となりました。

第三次「健康日本21」で決められた目標数値の中で代表例を挙げると、食塩については摂取量を現状の10.1gから７gに減らすほか、野菜の摂取量は現状の281ｇから350ｇに、果物の摂取量は現状の約２倍の200ｇに増やすこととしました。睡眠については心身の健康維持のために６～９時間（60歳以上は６～８時間）を十分な睡眠時間として、さらに十分な睡眠時間を確保できている割合を全世代の60%としました。また、一日の平均歩数の数値目標は20～64歳では8,000歩で、65歳以上では6,000歩としました。第二次「健康日本21」で設定された目標の中で、健康寿命は2019年時点で男性は72.68歳、女性は75.38歳となり、男性・女性ともに着実に延びつつあり、「健康日本21」の有効性が示唆されています。

今後、人生100年時代を見据えて生活習慣の改善を通して、さらなる健康状態の改善へと繋げる必要があります。

乳腺外科②

乳がんの症状を自覚した際の対応とは

前回の記事では、無症状の40歳以上の女性で、２年に１度乳がん検診を受診していただくことが重要であるとお話しました。では、乳がんの可能性がある症状を自覚した場合はどのような対応が望ましいでしょうか。

結論から言えば、できるだけ早く医療機関を受診していただくことが重要です。というのも、検診で指摘される乳がんよりも症状をきっかけに指摘される乳がんの方が進行していることが多いからです。

また、新規に指摘される乳がんの大部分は、症状を契機に指摘されます。2006年から2016年にかけて浜通りで指摘された乳がん患者を調査したところ、４分の３は症状を伴って医療機関を受診していました。

乳がんの代表的な症状は胸のしこりや乳首からの赤色の分泌物などです。もちろんその全てが乳がんに伴うものというわけではありません。ただ、このような症状が現れた場合、医療機関を一度受診して、深刻な病気がないかドクターと確認しましょう。

けんこうQ&A　放射線治療②

Q　放射線治療はどのような“がん”に有効ですか？

A　がんを治すための治療法には、手術や薬による治療と共に放射線治療があります。放射線治療を受ける患者が多いのは、乳がん、肺がん、前立腺がん、頭頸部がん（顔からのどのがん）、食道がん、子宮頸がんの順ですが、ほぼ全てのがんでこの治療が行われています。日本ではがん患者の3人に1人が放射線治療を受けています。

がん細胞の種類によって放射線の効果は異なるので、全てのがんを同じように治すことはできません。小さながんであれば放射線治療のみで完治できますが、進行したがんでは手術や薬物治療と組みあわせて治療します。臓器の機能を残して治療できるのも放射線治療のよいところです。たとえば、頭頸部がんや食道がんでは、声帯や食道の機能を保つため、手術しないで放射線治療を選ぶことがあります。合併症や高齢のため手術が受けにくい人でも放射線治療は可能です。また、がんによる痛みや、神経圧迫症状、出血などを、放射線治療で和らげることができます。

かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ（ホームページURL　https://www.iwaki.or. jp）

5月1日～6月15日

休日当番医など

お問い合わせ
医療対策課　☎27-8572

月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）		診療時間
5/3（金）	内科等	かしま病院（鹿島町下蔵持）	☎58-8010	9時～17時
		緑川内科クリニック（錦町）	☎68-6415	
		常磐病院（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	
		高坂脳外科クリニック（内郷宮町）	☎85-0333	
5/4（土）	内科等	中村病院（小名浜大原）	☎53-3141	9時～17時
		松崎内科（植田町）	☎63-3358	
		常磐病院（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	
		高坂脳外科クリニック（内郷宮町）	☎85-0333	
5/5（日）	内科等	山口医院（平作町）	☎24-1811	9時～17時
		石井脳神経外科・眼科病院（小名浜林城）	☎58-3121	
		呉羽総合病院（錦町）	☎63-2181	
		根本内科胃腸科医院（常磐湯本町）	☎43-4100	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
5/6（月）	内科等	磐城中央病院（小名浜南富岡）	☎53-3511	9時～17時
		いわき草木台総合クリニック（草木台）	☎28-1145	
		小松医院（遠野町）	☎89-2041	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
5/12（日）	内科等	ふじい医院（泉町）	☎56-2288	9時～17時
		櫛田病院（植田町）	☎63-3202	
		いわき湯本病院（常磐湯本町）	☎42-3188	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
	眼　科	中央台たなか眼科※（中央台高久）	☎29-1722	9時～14時
	小児科	森のこどもクリニック（植田町）	☎38-7227	9時～12時
5/19（日）	内科等	山口医院（平作町）	☎24-1811	9時～17時
		にしやま耳鼻咽喉科医院（泉玉露）	☎56-8733	
		こうじま慈愛病院（錦町）	☎63-5141	
		比佐医院（常磐湯本町）	☎43-2313	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
	眼　科	中央台たなか眼科※（中央台高久）	☎29-1722	9時～14時
	小児科	あおぞらキッズクリニック（小名浜大原）	☎85-5439	9時～12時
5/26（日）	内科等	すみたか内科クリニック（泉町滝尻）	☎75-1560	9時～17時
		呉羽総合病院（錦町）	☎63-2181	
		かとう内科クリニック（常磐西郷町）	☎72-0072	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
	眼　科	中央台たなか眼科※（中央台高久）	☎29-1722	9時～14時
	小児科	おおはらこどもクリニック（東田町）	☎63-0001	9時～12時
6/2（日）	内科等	山口医院（平作町）	☎24-1811	9時～17時
		ふかや耳鼻咽喉科（小名浜住吉）	☎58-1187	
		櫛田病院（植田町）	☎63-3202	
		常磐病院（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	
	小児科	こどもクリニックすずき（泉町）	☎56-6336	9時～12時
6/9（日）	内科等	かしま病院（鹿島町下蔵持）	☎58-8010	9時～17時
		矢吹病院（佐糠町）	☎63-1818	
		いわき湯本病院（常磐湯本町）	☎42-3188	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町）	☎81-5522	9時～15時
	眼　科	中央台たなか眼科※（中央台高久）	☎29-1722	9時～14時
	小児科	やまぎわこどもクリニック（郷ケ丘）	☎28-8686	9時～12時

※診療の受け付けは、診療終了時刻の30分前までです。
※症状や当直医師の専門科によっては診療できない場合もあります。適宜受診前に医療機関へお問い合わせください。

●当番医が急きょ変更となる場合があります。
事前に医療機関または消防テレホンガイド（☎050-1808-6119）にお問い合わせください。
なお、市ホームページでもご覧いただけます。

●この他にも診療している医療機関があります。
詳しくは、福島県医療情報ネット（ナビイ）をご覧ください。

【休日夜間急病診療所（内科・小児科）】

総合保健福祉センター隣　☎27-1208
平日：20時～23時　土曜日：19時～23時
日曜日：14時～18時、19時～23時
祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査については、市ホームページ、または電話で確認してください。

【休日救急歯科診療所】

総合保健福祉センター内　☎27-8620
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時（受付終了時間15時30分）

【県こども救急電話相談】

☎024-521-3790　または　#8000（プッシュ回線・携帯電話）
毎日　19時～翌朝8時

【県救急電話相談】

☎024-524-3020　または　#7119（プッシュ回線・携帯電話）
毎日　24時間対応

●かかりつけ医を持ちましょう　●コンビニ受診はやめましょう　●救急車は適正に利用しましょう

〔今月号の表紙〕　満開の桜をバックに、三和小学校の新1年生を写した一枚。このほかにも同校の新1年生たちの写真を市ホームページで公開していますので、ぜひ、ご覧ください。

広報いわき／毎月1日発行　編集・発行／いわき市
◆広報いわきに関する皆さんからのご意見お待ちしています
〒970-8686　いわき市平字梅本21　いわき市総合政策部広報広聴課
TEL 0246(22)7402　FAX 0246(22)7469
市ホームページURL https://www.city.iwaki.lg.jp/